2008年度
第1四半期決算
Conference Call

2008年8月8日
日本新薬株式会社

NIPPON SHINYAKU CO., LTD.

業績の状況（連結）

（百万円）

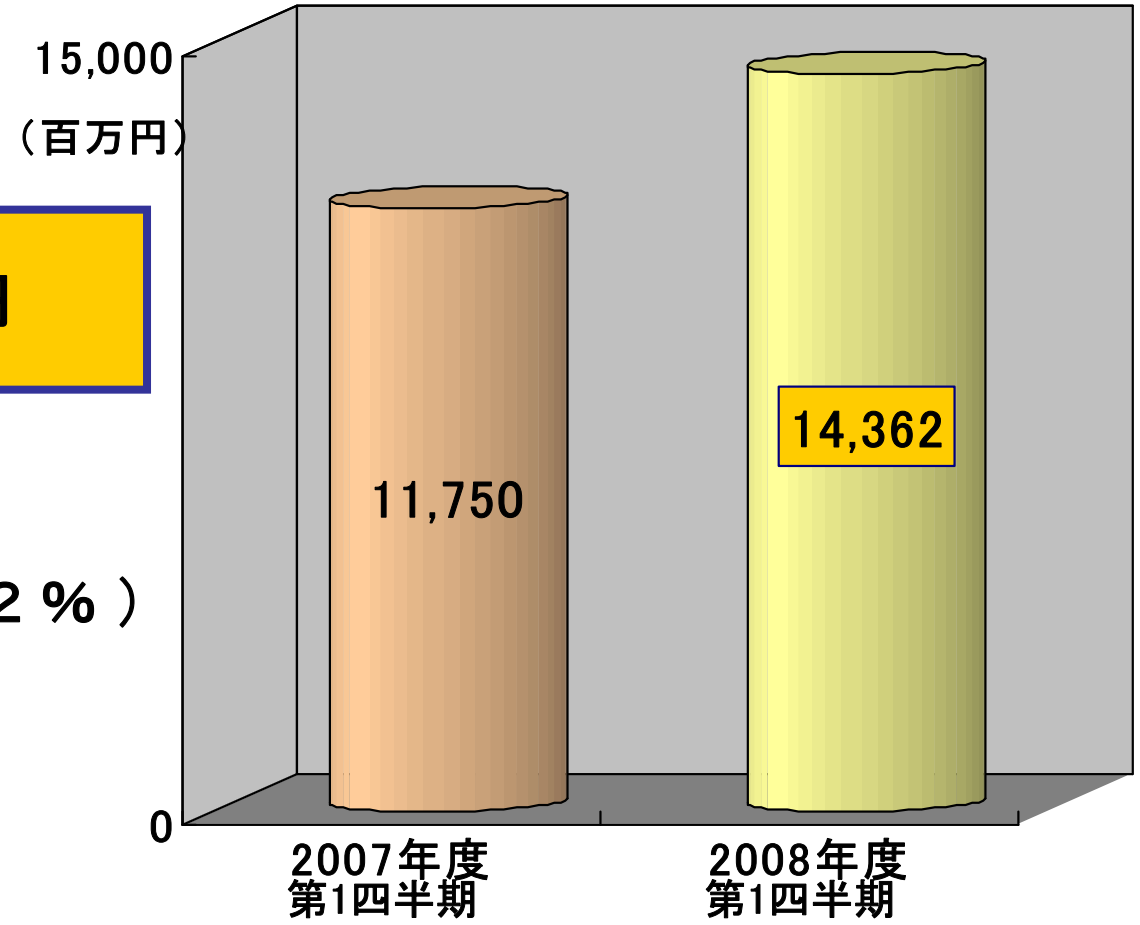
	2007年度		2008年度			
	第1四半期実績		第1四半期実績		対前年同期比	
		売上比		売上比	増 減	増減率
売　上　高	14,254	100.0%	17,739	100.0%	3,485	24.5%
営 業 利 益	1,515	10.6%	4,016	22.6%	2,501	165.0%
経 常 利 益	1,864	13.1%	4,508	25.4%	2,644	141.8%
当期純利益	1,024	7.2%	2,923	16.5%	1,899	185.3%

部門別業績推移　医薬品

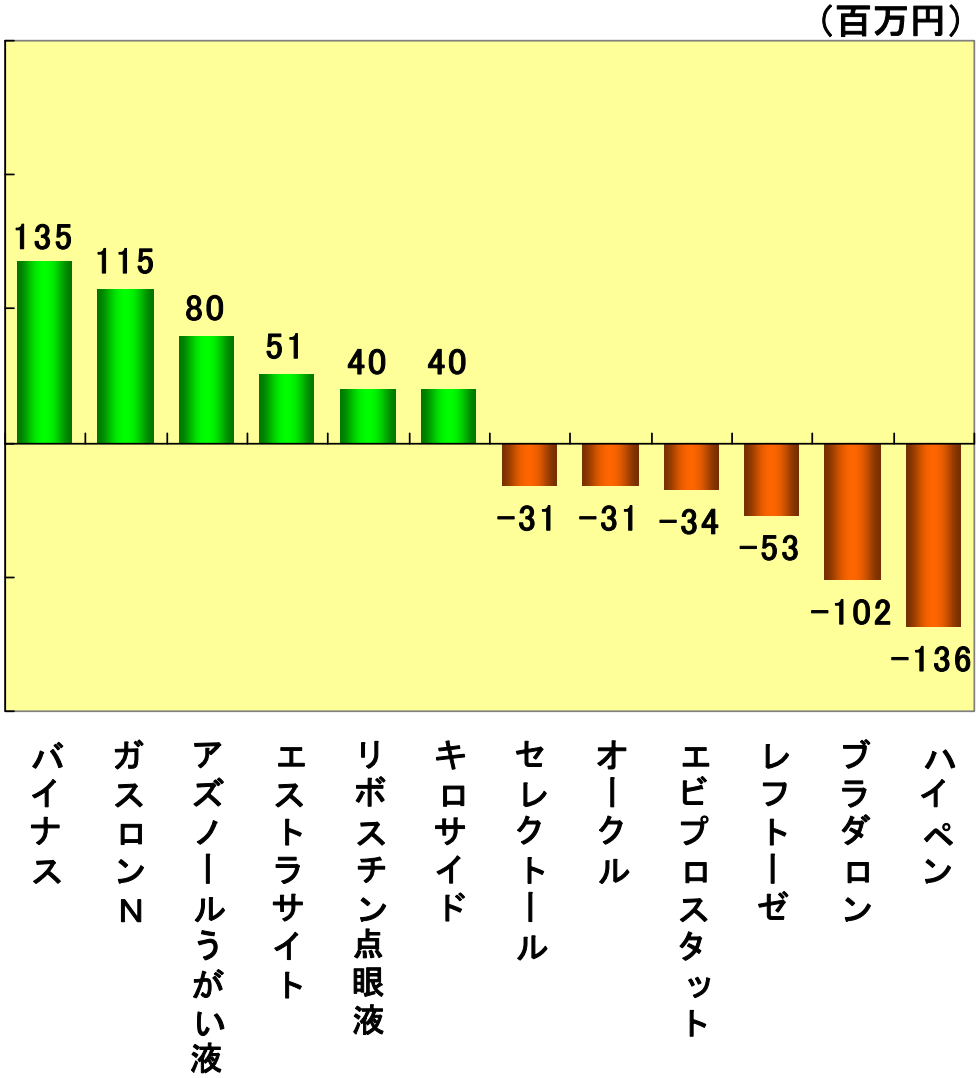
実績 14,362百万円

対 前年同期比

＋ 2,612百万円（ ＋ 22．２％ ）



主力品目 売上高増減



・バイナス（ 32. 4% up ）
（アレルギー性鼻炎治療剤）

・ガスロンN（ 11. 9% up ）
（粘膜防御性胃炎･胃潰瘍治療剤）

・アズノールうがい液（ 19. 2% up ）
（アズレン含嗽液）

等の伸長

・ハイペン（ 8. 0% down ）
（非ステロイド性鎮痛･抗炎症剤）

・ブラダロン（ 10. 7% down ）
（頻尿治療剤）

・レフトーゼ（ 10. 1% down ）
（出血抑制消炎酵素剤）

等の減少

医薬品売上 の 内訳

（百万円）

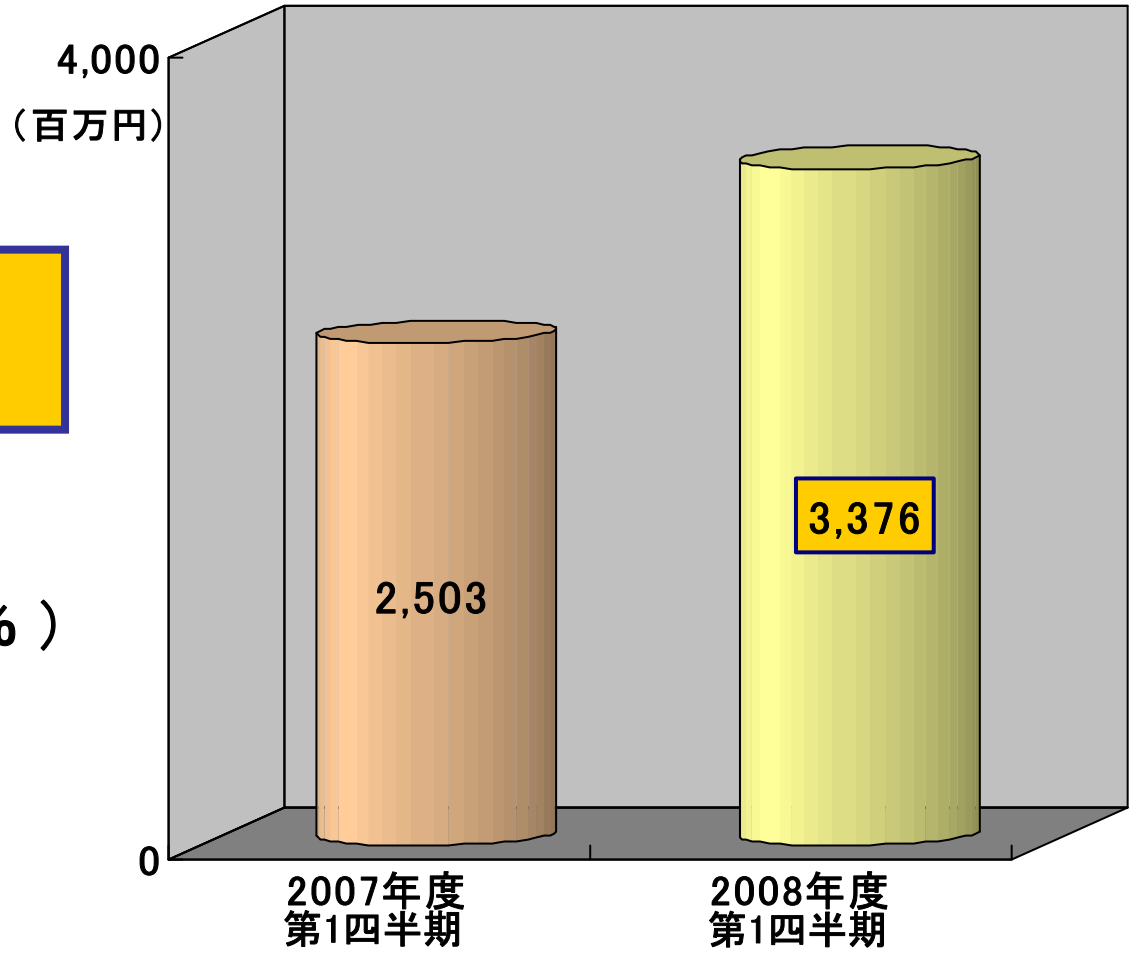
	2007年度		2008年度			
	第1四半期実績		第1四半期実績		対前年同期比	
		売上比		売上比	増 減	増減率
医薬品	11,257	95.8%	11,492	80.0%	235	2.1%
工業所有権等収益	18	0.2%	2,451	17.1%	2,433	13516.7%
ﾌﾟﾙﾘﾌﾛｷｻｼﾝ原薬	440	3.7%	394	2.7%	△ 46	△10.4%
受託製造	35	0.3%	25	0.2%	△ 10	△28.6%
医薬品合計	11,750	100.0%	14,362	100.0%	2,612	22.2%

部門別業績推移　機能食品

実績 3,376百万円

対 前年同期比

＋ 873百万円（ ＋ 34．９ ％ ）



機能食品売上 の 内訳

（百万円）

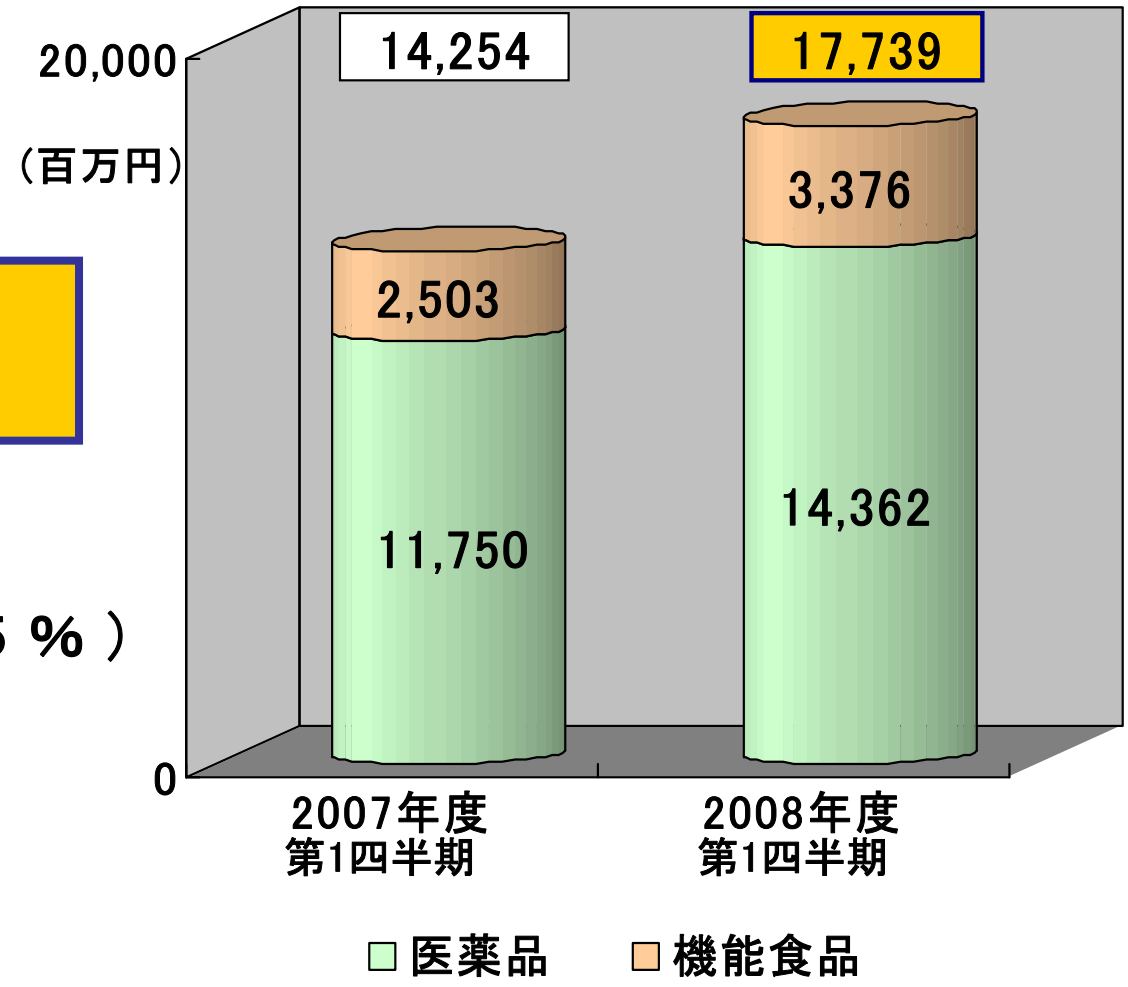
	2007年度		2008年度			
	第1四半期実績		第1四半期実績		対前年同期比	
		売上比		売上比	増 減	増減率
健康食品素材	161	6.4%	117	3.5%	△ 44	△27.3%
品質安定保存剤	368	14.7%	355	10.5%	△ 13	△3.5%
たん白製剤	1,590	63.5%	1,975	58.5%	385	24.2%
ニュートリション素材	－	－	522	15.5%	522	－
その他	384	15.3%	407	12.1%	23	6.0%
機能食品合計	2,503	100.0%	3,376	100.0%	873	34.9%

業績推移（連結）売上高

実績 17,739百万円

対 前年同期比

＋ 3,485百万円（ ＋ 24．５ ％ ）



業績の状況（連結）①

（百万円）

	2007年度		2008年度			
	第1四半期実績		第1四半期実績		対前年同期比	
		売上比		売上比	増 減	増減率
営 業 収 益						
売上高	14,254	100.0%	17,739	100.0%	3,485	24.5%
（医 薬 品）	(11,750)	(82.4%)	(14,362)	(81.0%)	(2,612)	(22.2%)
（機能食品）	(2,503)	(17.6%)	(3,376)	(19.0%)	(873)	(34.9%)
営 業 費 用	12,738	89.4%	13,723	77.4%	985	7.7%
売上原価	6,561	46.0%	7,378	41.6%	817	
返品調整引当金繰入額	3	0.0%	32	0.2%	29	
販売費及び一般管理費	4,409	30.9%	4,490	25.3%	81	
研究開発費	1,763	12.4%	1,822	10.3%	59	
営 業 利 益	1,515	10.6%	4,016	22.6%	2,501	165.0%

営業利益：工業所有権等収益などの増加により大幅増益

業績の状況（連結）②

（百万円）

	2007年度		2008年度			
	第1四半期実績		第1四半期実績		対前年同期比	
		売上比		売上比	増 減	増減率
営 業 利 益	1,515	10.6%	4,016	22.6%	2,501	165.0%
営業外収益	468	3.3%	595	3.4%	127	27.2%
営業外費用	119	0.8%	103	0.6%	△ 16	△13.5%
経 常 利 益	1,864	13.1%	4,508	25.4%	2,644	141.8%
当期純利益	1,024	7.2%	2,923	16.5%	1,899	185.3%

経常利益・当期純利益　：営業利益、営業外収益の増加により増益

財政状況（連結）

（百万円）

	2007年度	2008年度			2007年度	2008年度	
	期末実績	第1四半期実績	増 減		期末実績	第1四半期実績	増 減
資産の部	103,115	107,762	4,647	負債の部	26,164	27,950	1,786
（流動資産）	56,281	59,390	3,109	（流動負債）	15,071	16,614	1,543
（固定資産）	46,834	48,371	1,537	（固定負債）	11,093	11,336	243
				純資産の部	76,951	79,811	2,860
合 計	103,115	107,762	4,647	合 計	103,115	107,762	4,647

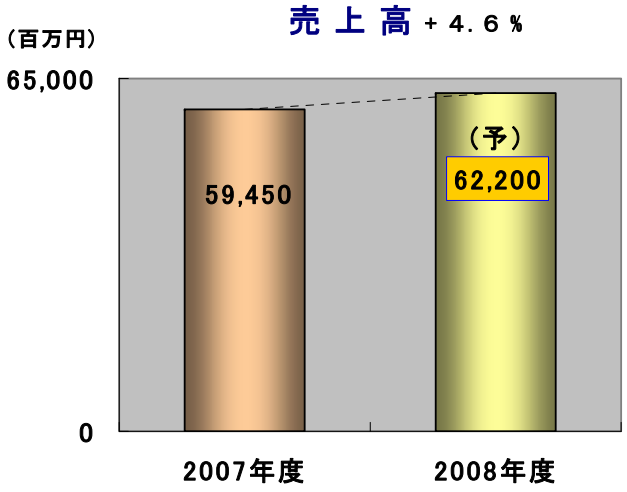
キャッシュ・フローの状況（連結）

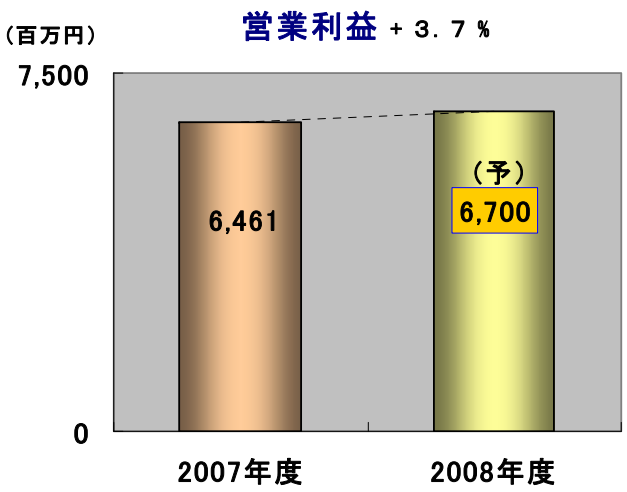
（百万円）

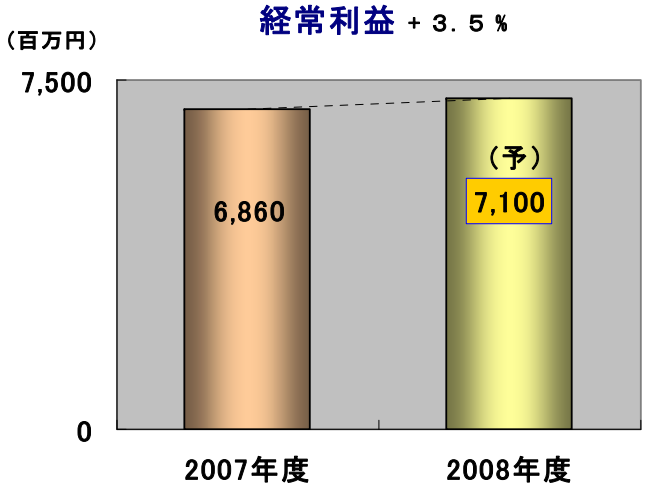
	2007年度	2008年度	2007年度
	第1四半期 実績	第1四半期 実績	実績
営業活動による キャッシュ・フロー	1,604	2,825	7,346
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 194	△ 1,144	△ 1,070
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 660	△ 844	△ 2,149
現金及び同等物の 期末残高	12,167	16,297	15,153

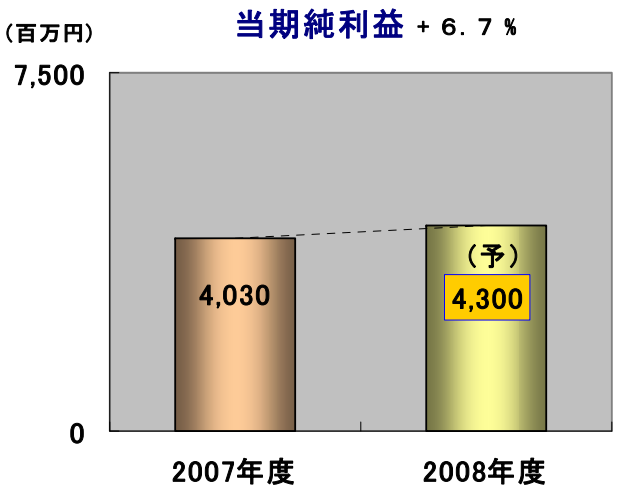
現金及び同等物の期末残高　：　対前年度比　＋1,143百万円

通期業績予想（連結）


売 上 高 ＋４．６％
（百万円）
65,000
0
59,450
（予）
62,200
2007年度
2008年度


営業利益 ＋３．７％
（百万円）
7,500
0
6,461
（予）
6,700
2007年度
2008年度


経常利益 ＋３．５％
（百万円）
7,500
0
6,860
（予）
7,100
2007年度
2008年度


当期純利益 ＋６．７％
（百万円）
7,500
0
4,030
（予）
4,300
2007年度
2008年度

研究開発品目の進捗状況

新製品開発状況（国内）

開発品目	申請区分	適応症等		開発段階	2006	2007	2008	2009年度
NS－126 （導入）	新成分	吸入 ｽﾃﾛｲﾄﾞ 剤	鼻　炎	申請中	→ 申請			承認予定 ●
			喘　息	ＰⅡ	→	→	→	→
NS－315 （ﾄﾗﾏﾄﾞｰﾙ塩酸塩） （導入）	新投与経路	癌性疼痛 （非麻薬性鎮痛剤）		申請中	→	→	申請	
NS－11 （アカンプロセート） （導入）	新成分	アルコール依存症		ＰⅡ	→	→	ＰⅢ 予定	→
NS－17 （アザシチジン） （導入）	新成分	骨髄異形成症候群		ＰⅡ		→	ＰⅡ →	→
NS－304 （自社）	新成分	肺高血圧症		ＰⅡ 準備中		→	ＰⅡ 予定	→

新製品開発状況（海外）

開発品目	申請区分	適応症	開発段階	2006	2007	2008	2009年度
NM441（自社）	新成分	合成抗菌剤	韓国発売準備中	柳韓洋行社 申請 →	承認 ●		
			US PⅢ	Optimer社 →	→	→	申請予定 →
NS－304（自社）	新成分	肺高血圧症	EU PⅡ			Actelion社 →	→
NS－187（自社）	新成分	慢性骨髄性白血病	US/EU PⅡ準備中	Innovive社 →	→	PⅡ予定	→

NS−126
― 吸入ステロイド剤 ―

開発段階 ： 鼻炎：2006/12 申請
喘息：ＰⅡa試験 終了

開発形態 ： 自社

成 分 名 ： 新規合成副腎皮質ステロイド

適 応 症 ： アレルギー性鼻炎、気管支喘息

特 徴 ： 粉末製剤
１日１回噴霧

提 携 ： ユ・ヨン社（韓国）へ導出：2008/06

NIPPON SHINYAKU CO., LTD.

NS－315（ﾄﾗﾏﾄﾞｰﾙ塩酸塩）
－ 非麻薬性鎮痛剤 －

グリュネンタール社（独）から導入（世界の約100ヵ国で発売済み）

開発段階：癌性疼痛：2008/07申請

開発形態：自社

用　　法：4回／日

特　　徴：中等度鎮痛剤

NSAIDs ＜ トラマドール ＜ モルヒネ

NS−11（アカンプロセート）
― アルコール依存症治療剤 ―

開発段階：ＰⅡ試験
開発会社：メルクセローノ社（スイス）より導入：2003/05
欧州30ヵ国で発売済み（1989～）
米国　2005/01 発売（Forest社）
適　応　症：アルコール依存症
成　　分：アカンプロセート
剤　　型：腸溶錠
特　　徴：NMDA（N-ﾒﾁﾙ-D-ｱｽﾊﾟﾗｷﾞﾝ酸）受容体との特異的相互作用により、アルコールの離脱症状を軽減し、自発的飲酒を抑制する禁酒維持療法

NS－17（アザシチジン）
－ 骨髄異形成症候群治療剤 －

開発段階：ＰⅡ試験 2008/07～

開発会社：ファーミオン社（米）より導入 ： 2006/11
米国 2004/07 発売

適 応 症：骨髄異形成症候群（MDS)

成 分：アザシチジン

剤 型：凍結乾燥粉末/バイアル
（用時溶解、皮下・静脈内注射）

特 徴：・DNA脱メチル化作用による正常な細胞分化誘導
・Low ～High Risk MDS に有効
・MDS治療の第一選択薬（米国）

NIPPON SHINYAKU CO., LTD.

NS－304
－ 肺高血圧症治療剤 －

開発段階： 欧州（EMEA）オーファン指定：2005/08
ＰⅡ試験（欧州） 2007/11～
ＰⅡ試験（国内） 準備中

開発形態： 2008/04アクテリオン社（スイス）へ
導出（日本を除く全世界）
国内はアクテリオン社と共同開発・販売

適　応　症： 肺高血圧症

作用機序： 選択的PGI_2アゴニスト

剤　　型： 錠剤

特　　徴： 長時間作用型経口剤

NIPPON SHINYAKU CO., LTD.

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」を含みます。これらの文書は、現在における見込み、予測、リスクを伴う想定、実質的にこれらの文書とは異なる現実的な結論、結果を招きえる不確実性に基づくものです。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、貨幣為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。リスクや不確実性は、特に製品に関連した見通し情報に存在します。製品のリスク、不確実性には、技術的進歩、特許の競合他社による獲得、臨床試験の完了、製品の安全性ならびに効果に関するクレームや懸念、規制機関による承認取得、国内外の社会保障制度関連改革、マネージドケア、健康管理コスト抑制への傾向、国内外の事業に影響を与える政府の法規制、新製品開発に付随する課題などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。
- また、承認済み製品に関しては、製造およびマーケティングのリスクがあり、需要を満たす製造能力を欠く状況、原材料の入手困難、市場の需要が得られない場合などが含まれますが、これに限定されるものではありません。
- 新しい情報、将来の出来事もしくはその他の事項より、見通し情報に更新もしくは改正が望ましい場合であっても、それを行う意図を有するものではなく、義務を負うものではありません。